

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年7月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	コスモ海洋株式会社
所在地	福岡県北九州市門司区栄町11番9号
代表者役職・氏名	代表取締役 金丸 市郎
担当者連絡先	電話：093-332-2460
	メール：soumu@cosmo-ocean.jp
ウェブサイトURL	https://www.cosmo-ocean.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は平成4年に創業した海洋建設業者であり、全国各地の海洋探査・測量・海洋環境調査・潜水作業及び海洋土木工事を実施している。
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	海洋調査、磁気探査、潜水探査、潜水調査等による調査活動から海洋土木、浚渫工事により、海洋汚染の防止、異常物、危険物の除去を含む海洋ゴミの削減活動を行い、海の豊かさを守る。	探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率100%を目指す
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力・潮流・波力発電等の海洋調査を行い、再生可能エネルギーのインフラ整備に貢献する。また、河川・ダム等の測量、調査を行い、豪雨被害等の被害軽減に寄与するインフラ整備に貢献する。	探査・調査件数 現状の200%増を目指す
□環境 ✓社会 ✓経済	北九州道路サポーター登録企業として、道路の清掃・美化活動を行う。また、港湾地区で清掃活動を実施する。	道路・港湾地区の清掃活動数 道路：週1回 港湾地域：年4回

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・北九州市が定めた産業廃棄物処理要領に基づき、マニフェストを作成し適正に処理している。 ・紙や段ボールは適正に収集しリサイクルしている。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ISO14001に基づき、毎月の公共料金使用状況をチェック。前年と比較して削減に努めている。						7.3						13					
	13 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・現在社用車を11台所有しており、毎月運航報告書の提出を義務付け、走行距離の管理と燃料の節約を呼び掛けている。						7.2 7.3					12.4	13.3					
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9		6.3					11.6	12.4						
	15 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	作業時に廃油等が流出しないように配慮している					6.6									15			
	16 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
	17 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・2012年ISO環境マネジメントシステムの認証取得。			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
	18 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
	19 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13					
	20 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・2018年5月「ISO9001品質マネジメントシステム」を取得。質の良い、安全なサービス提供に努めている。			3.9								12.4						
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	同上									9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ISO14001, 9001を同時に取得することにより、環境への負荷軽減や汚染防止と質の高いサービスの提供に相乗的に取り組んでいる。					6						12	13	14	15			
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9	11	12		14	15		17	
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・12年間会社周辺の道路清掃を継続し、令和3年度、北九州市長より「北九州市自治会活動応援事業者」の表彰を受けました。				4						11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9	11	12	13					

(様式第4号)

令和5年11月7日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 福岡県北九州市門司区栄町11番9号

名称： コスモ海洋株式会社

代表者： 代表取締役 金丸 市郎

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋調査、磁気探査、潜水探査、潜水調査等による調査活動から海洋土木、浚渫工事により、海洋汚染の防止、異常物、危険物の除去を含む海洋ゴミの削減活動を行い、海の豊かさを守る。	探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率100%を目指す	現状に於ける探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率は90%ほど、人力で回収できない大型の異常物などはウインチを使用するなどし、100%回収を目指す。
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力・潮流・波力発電等の海洋調査を行い、再生可能エネルギーのインフラ整備に貢献する。また、河川・ダム等の測量、調査を行い、豪雨被害等の被害軽減に寄与するインフラ整備に貢献する。	探査・調査件数 現状の200%増を目指す	官公庁等の探査・調査の発注件数が減少しているため、増数は少ないが確実に件数は増えている。
□環境 ✓社会 ✓経済	北九州道路サポーター登録企業として、道路の清掃・美化活動を行う。また、港湾地区で清掃活動を実施する。	道路・港湾地区の清掃活動数 道路：週1回 港湾地域：年4回	道路の清掃は週1回を厳守している 港湾地域の清掃も可能な限り参加をしている

(様式第4号)

令和6年10月31日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 北九州市門司区栄町11番9号

名称： コスモ海洋株式会社

代表者： 代表取締役 金丸 哲士

登録年月日： 令和5年3月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋調査、磁気探査、潜水探査、潜水調査等による調査活動から海洋土木、浚渫工事により、海洋汚染の防止、異常物、危険物の除去を含む海洋ゴミの削減活動を行い、海の豊かさを守る。	探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率100%を目指す	現状に於ける探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率は90%ほど、人力で回収できない大型の異常物などはウインチを使用するなどし、100%回収を目指す。
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力・潮流・波力発電等の海洋調査を行い、再生可能エネルギーのインフラ整備に貢献する。また、河川・ダム の測量、調査を行い、豪雨被害等の被害軽減に寄与するインフラ整備に貢献する。	探査・調査件数 現状の200%増を目指す	官公庁等の探査・調査の発注件数が減少しているため、増数は少ないが確実に件数は増えている。
□環境 ✓社会 ✓経済	北九州道路サポーター登録企業として、道路の清掃・美化活動を行う。また、港湾地区で清掃活動を実施する。	道路・港湾地区の清掃活動数 道路：週1回 港湾地域：年4回	道路の清掃は週1回を厳守している 港湾地域の清掃も可能な限り参加をしている